

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	工業英語	
科目基礎情報							
科目番号	0083			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	創造工学科 (情報コース)			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	英文法ワークショップ (桐原書店) リスニングボックス 1 (啓林館)						
担当教員	長谷川 佐知子						
到達目標							
1. 科学技術の分野の最先端情報を英語で理解する。2. 科学技術分野での頻出の語句や表現を学び、意味を把握するだけでなく、未知の語句や表現も類推できる力を養う。 3. 実際のコミュニケーションの現場を想定したダイアログやプレゼンテーションを素材にしたリスニングで、発信力を養う。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	応用問題に対応できる文法の力が ついている。		練習問題に対応できる文法の力が 身についている。		文法の基礎力が身につけていない。		
評価項目2	チェックテスト 80%以上		60%以上		60%未満		
評価項目3	Listening 80%以上		60%以上		60%未満		
学科の到達目標項目との関係							
(F) 論理的表現力と外国語によるコミュニケーションの基礎能力を身につける。							
教育方法等							
概要	工科の学生が、英語で情報を収集し、自ら発信できるような力を身につける。できるだけ新しい話題性のある工業分野の英文を教材にし、自力で読み解く力をつける。						
授業の進め方・方法	学生はテキストの予習、授業に出席すること。授業の進め方はテキスト通りである。前期中間試験50%、前期末試験50%で達成度を総合評価し、60点以上を合格とする。						
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	unit 1 基本事項の確認		自動詞と他動詞／誤りやすい他動詞と自動詞／第4文型と第3文型との書きかえ／入試でねられる重要な動詞		
		2週	unit 2 時制		時制の基本／進行形／完了形		
		3週	unit 3 完了形		主な助動詞の用法／その他の助動詞の用法／助動詞 + have + 過去分詞／助動詞を含む慣用表現		
		4週	unit 4 助動詞		能動態と受動態／受動態のさまざまな形／受動態と時の表現／いろいろな文型・構文と受動態／群動詞の受動態／注意したい受動態の用法		
		5週	unit 5 受動態		不定詞の3用法／不定詞の注意すべき用法 (1) ／不定詞の注意すべき用法 (2) ／S+V+O+C (原形不定詞・to不定詞) ／不定詞の慣用表現		
		6週	unit 6 不定詞		動名詞の働き／動名詞のさまざまな形／動名詞の慣用表現／動名詞と不定詞		
		7週	unit 7 動名詞		分詞の種類と用法／分詞構文／付帯状況のwith		
		8週	中間テスト		関係代名詞の種類と用法／関係副詞の種類と用法／限定用法と継続用法／複合関係詞		
	4thQ	9週	unit 8 分詞		等位接続詞／従属接続詞／相関表現		
		10週	unit 9 比較		仮定法と時制／仮定法の重要表現／条件がif節以外の仮定法		
		11週	unit 10 関係詞		形容詞・副詞の比較変化／原級を用いた表現／比較級を用いた表現／最上級を用いた表現		
		12週	unit 11 仮定法		否定／無生物主語		
		13週	unit 12 疑問詞		倒置／強調／省略／挿入／同格		
		14週	unit 13 その他の重要事項		前置詞の基本的な意味／群前置詞		
		15週	期末テスト				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	30	0	0	0	0	0	30